

ISO/TC46/SC9 総会報告

菅野育子 松田稔広

日時 2015-06-04 9:00-13:00

場所 中国 北京 Institute of Scientific and Technical Information of China

1. Opening of the meeting

2. Roll call of delegates

議長 Stella Griffith(英国)

事務局 Todd Carpenter(米国)

英国、米国、スウェーデン、フランス、ドイツ、中国、韓国

日本、カナダ、オーストラリア、フィンランド、デンマーク、タイ他、15か国

リエゾンも含めて35名が出席

3. Adoption of the agenda

SC9 document N816

4. Appointment of the drafting committee

米国 2 フランス 1

5. Report of the Secretariat

資料 SC9N822 のとおり説明

議長 韓国から英国へ交代

ケニヤ P から O メンバーへ格下げ

WG の進め方とキャンセル期限

各 WG の活動

WG13 (ILII) の紹介

6. Report from ISO Central Secretaria

ISO 中央事務局の TC46 担当者 MaryLou は北京に来ているが残念ながら SC9 に出席できず

決議 1 ISO/CS 担当者が SC9 総会に必ず出席するよう求める

7. Status of all items of the programme of work and action to be taken

7.1 Standards published since last meeting:

昨年度の IS 出版なし

7.2 17316, International standard link identifier (ISLI)

Project leader: Isabel Xiang (China)

ISO 17316 の出版については承認されていたが、ISO の TMB での RA (ICIA) の登録が今年 3 月

であったことからようやく今年出版となった。

決議2 WG11のISO 17316:2015 ISLI(International Standard Link Identifier)の完成と コンビーナーIsabel Xiang氏とメンバーへの感謝

7.3 3901, International Standard Recording Code(ISRC) [revision]

Project leaders: Paul Jessop and Victoria Weems (UK)

6月2日(13:00-17:00)に開かれたTC46/SC9/WG10の会議報告。

改定にあたってプロジェクトメンバーからの提案にRA (IFPI) が反対し、
議論は平行線であった。

決議3 WG10(ISRC)プロジェクトはすでに2回キャンセルされている。

**2015年12月1日までにDIS投票準備ができるか、9月1日までにまとまらなければ
プロジェクトキャンセルを避けるためにNWIPするよう要請。**

7.4 2108, International Standard Book Number (ISBN)[revision]

*Project leader: Stella Griffiths (UK)*から6月3日(13:30-17:00)に開催されたTC46/SC9/WG4

の報告があった。4月にCD投票あり承認された。次のステージに進んでいる。

他にNational RAの位置づけについても議論した。

7.5 20247, International library item (ILII)

Project leader: Akira Miyazawa (Japan)

コンビーナーの宮澤委員から報告。テクニカルな論点は片付いたのでWD登録の8月期限に合わせ
て進めている。(プロジェクト番号は20247となった)

7.6 15707, International Standard Musical Work Code(ISWC) [revision]

Project leader: Pending [ballot to approve José Macarro, N815]

昨年ワシントン会議で改定が決まり、それに対応してプロジェクトリーダー承認投票があ
り、José Macarro氏がコンビーナーとなった。活動を進めるためにより多くのエキスパート
を求める。

7.7 WG 12, Indexes and Indexing [possible merger and revision of ISO 999, Guidelines for the
content, organization and presentation of indexes, and ISO5963, Methods for examining documents,
determining their subjects, and selecting indexing terms

Project leader: Pending [ballot to approve Janet Shuter, N813]

ワシントン会議での決議でWG12となる。コンビーナーJanet Shuter氏を承認。

(日本からのエキスパート選出をNDLに依頼したが出せなかった。)

8. Work items on which no progress is being made –Status and action to be taken

進行していない案件はなし

9. Systematic reviews

9.1 Results of systematic reviews for 2014

ISO 4:1997, Information and documentation – Rules for the abbreviation of title words and titles of publications [confirmed – see N798] 承認

ISO 10324:1997, Information and documentation –Holdings statements – Summary level [confirmed – see N799] 承認

ISO 10957:2009, Information and documentation –International standard music number (ISMN) [no consensus – see N800] 承認されなかった。重要な規格であるのでRAと慎重に議論する必要があることと、ISBN改定に合わせた改定が必要との意見が出た。

(日本は承認したが、国内ではISMNを採用していないので棄権すべきだった)

決議4 ISMN定期見直しで継続が認められなかった結果を受けて、良い内容になっているISBNを参考に、迅速に丁寧な見直しレポートを作成するよう指示。

ISO 15706-1:2002, Information and documentation –International Standard Audiovisual Number (ISAN) –Part 1: Audiovisual work identifier [confirmed – see N744] 承認

ISO 21047:2009, Information and documentation –International Standard Text Code (ISTC)

[confirmed –see N785] 承認されたが、米国からの意見があり、国内にすでに別の著作権管理があり、ISTCはその役割をおこなっていないことを指摘し改定が望まれた。

決議5 ISTC(ISO 21047:2009)は定期見直しで継続が認められたが、現状に即したものに改定するためにNWIPを検討するよう要請。

9.2 Systematic reviews for 2015/2016

2015年

ISO 690:2010, Information and documentation –Guidelines for bibliographic references and citations to information resources

デジタルコンテンツの引用方法についての記述や事例が古くなっている

見直しが必要との意見 9月投票期限 JIS SIST改定も絡めて国内対策が必要

ISO 15706-2:2007, Information and documentation –International Standard Audiovisual Number (ISAN) –Part 2: Version identifier

2016年

ISO 3297:2007, Information and documentation –International standard serial number (ISSN)

ISSNから少し見直しする旨の意見あり NDLに確認が必要

ISO 25964-1:2011, Information and documentation –Thesauri and interoperability with other vocabularies –Part 1: Thesauri for information retrieval

10. Reports from Registration Authorities

識別子を扱うRAやMAから報告(事前配布資料参照)

11. Report from Ad hoc Identifiers Interoperability Group

6月3日(9:30-10:30)に開かれたTC46/SC9 Ad hoc Identifiers Interoperabilityの報告。

LCCの「Principle of identification」(相互運用可能な識別子の有効活用を目的に集まった CISAC, DOI, ISNI, ISBN, ISSN, ISRCなどからなる非営利団体によるもの)に関する議論は昨年から継続しているが、NWIPへ進めるにしても、資料が提出されているだけで、関係者からの説明がない。今後についてコメントを集まる。

決議 6 SC9識別子Adhoc Groupのメンバーはその代表(Norman Paskin氏)にLinked Content Coalition Principles of Identificationに関する資料に対するコメント提出を要請。

12. Report from Ad hoc Registration Authorities

6月3日(10:30-11:30)に開催されたTC46/SC9 Ad Hoc Registration Authoritiesの報告。

ISOガイドライン上ではRAには権限がなく、各国の意見を反映することが難しい
特にISBNの改定作業においてもその記述が問題となっている

決議 7 ISO Directivesの変更によって国内RAの位置づけが変わったことによって影響を受けているRAのために、SC9はISO/CSと直接議論するAdhoc Groupを作る

13. Items for future work:

- Metadata for scientific datasets

ワシントン会議で紹介があったDOIからの提案で、科学データに付与するDOIとそのメタデータに関するもの。NWIPが提出される予定。

14. Strategic Planning for 2015/2016

これまでのSC9活動を識別子が記述かどちらにシフトするかといった議論があったが再度議論する。SC4との重複について、メタデータフォーマットはSC4、文献に関する記述や引用がdescriptionという名称の意味であるし、セマンティック部分がSC9の担当といった意見があった。記述コミュニティ(IFLA等)が集まって、目録の規則やコンセプトやメタデータフォーマット記述について議論していることにも注目していく。

Strategy and business plan report はTC46レベルで作成するがSCについても触れることになるので、議長だけでなくメンバーから意見を求めることになる。

決議 8 SC9は目録規則や目録作業を活動範囲に含めていくために、IFLAやCoP (Committee of Principals、米国・英国・カナダ・オーストラリアの国立図書館や図書館協会からなる合同委員会) に対してファーストトラックを提案するよう働きかける。

15. New liaisons:

決議 9 LCC(Linked Content Coalition)をAリエゾンに迎える

決議10 ICIA(International Information Content Industry Association) をAリエゾンに迎える

16. Requirements concerning a subsequent meeting

決議11 次回総会はニュージーランド(Wellington)で2016年5月2日から6日に開催。

17. Any other business

なし

18. Approval of resolutions

上記で述べた決議 1 から決議11に加えて下記の決議1 2 も承認

決議 1 2 SAC(the Standardization Administration of China) とISTIC (the Institute of Scientific and Technical Information of China) をはじめ中国関係者に感謝。

19. 閉会